

# 教科書Q&A

**Q** 『CROWN Jr.』では、語彙はどのようなものが選ばれていますか。

**A** 学習指導要領解説では語彙について、「児童の発達の段階に応じて、聞いたり読んだりすることを通して意味が理解できるように指導すべき語彙(受容語彙)と、話したり書いたりして表現できるように指導すべき語彙(発信語彙)とがある」と書かれています。主語 I や基本的な動詞 like, have など、すべての子供が自己表現で使う語彙が発信語彙です。一方、Aさんにとっては自分を伝えるために重要な語(発信語彙)だけれど、BさんにとってはAさんが言っていることを理解できればよいという語もあります。この場合、この語はBさんにとっては受容語彙です。たとえば自分の誕生日を伝えるとき、12の月のうち自分の誕生月1語が発信語彙で、残りの11の月は聞いてわかる、というようなことです。『CROWN Jr.』では、音声で聞くものも含め660語程度を子供の発信語彙の「総体」として決めました。語の選択にあたっては、『Let's Try!』『We Can!』を参考にしました。教科書巻末 Words & Phrasesの語は、660語の中からイラストにできる語、言語活動に資する語という観点で選択しています。

**Q** Small Talkはどこでやりますか。

**A** 『小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック』では、Small Talkは「あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすること」で、Small Talkをする主な目的は「既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図る」こと、「対話を続けるための基本的な表現の定着を図る」ことと書かれています。『CROWN Jr.』では、Panorama、Listen & Talk、Talk to Friendsなど、さまざまなコーナーでSmall Talkをしていただけます。また、6年生の教科書巻頭には、対話を続ける便利な表現をまとめた「会話を続けるくふう」を掲載しています。

**Q** ALTや専科教員がいなくても授業はできますか。

**A** 『教師用指導書』や『指導者用デジタル教科書(教材)』には、担任の先生が指導をする際に参考になる資料(指導案、Teacher Talkの例、補充活動案、各種ワークシートなど)や音声を豊富に収録しています。特に『指導者用デジタル教科書(教材)』は授業をスムーズに進められるための機能をたくさん搭載していますので、担任の先生おひとりでも豊かな授業をおこなっていただけます。

**Q** 書体はどのようなものを使用していますか。

**A** 主に使用している書体はCJ GothicとNC Gothicです。CJ Gothicは書き写しの見本用書体で、書く活動が中心となるコーナーで使用しています。NC Gothicは読む活動が中心となるコーナーで使用していますが、子供たちが混乱しないように、手書き文字に似せた形にしています。NC Gothicは中学校の教科書でも使用しており、小中のゆるやかな接続を助けます。上記2種類以外にも、楽しみながら英語の文字に触れられるよう、コーナーロゴなどに数種類のフォントを使用しています。

小社ウェブサイトのQ&Aコーナーでは、上記内容を含め、『CROWN Jr.』をより深くご理解いただくための情報を提供しております。

2020年度版 小学校英語教科書ウェブサイト <https://tb.sanseido-publ.co.jp/02cjpr/>